

カ イ ゼ ン 報 告 書

提案番号	No.18-15		
提出年月日	平成30年8月31日	受付年月日	平成30年8月31日
所 属		職名・氏名	
提案件名	動物死体収集運搬業務委託		
カイゼン前の問題点	<p>(何がどのように問題であったのか具体的に)</p> <p>道路上等にある動物死体は一般廃棄物であり、元来道路管理者等の土地管理者が対応及び処理を行っていた。しかしながら、過去に環境課に一元化され、市民等から通報が入る度に環境課職員が収集運搬を行うようになっていた。</p> <p>動物一体の収集運搬に係る平均時間は約2時間程度であり、動物の種類によっては複数人数での対応を迫られていた。また、職員数が逡減の一途を辿る中、週休日や祝祭日であっても宿日直からの電話があれば対応を行い、時間的に拘束されるだけでなく、衛生面の問題や精神面での負担があり、費用対効果が低い業務であった。</p>		
取組内容	<p>(カイゼンした方法について具体的に)</p> <p>直営での動物死体の収集運搬 ⇒ 猟友会駆除班実施隊に委託。</p> <p>① 過去の実績から費用対効果の検証</p> <p>② 課内での問題点の洗い出し、里海里山課と調整</p> <p>③ 法曹有資格者と問題点の解決協議、ルール作成における確認等</p> <p>④ マニュアルの作成及び猟友会との調整</p>		
カイゼンの効果	<p>(効果について数量等を具体的に)</p> <p>別紙1のとおり</p>		
カイゼンに係る経費等	<p>(金額、時間等)</p> <p>カイゼンに係る直接事業費は一切かかっておりません。ただし、アウトソースを実施するに当たっての費用対効果の検証や受託後の動物死体処理のマニュアル作成を始め猟友会との協議に概ね3カ月程度を要した。</p>		
所属長意見	<p>市の業務でも、委託が可能なものは、費用対効果、事務量も勘案しながら検討していくべきものと考えます。</p> <p>環境課が管理運営している各施設においても、人員不足が将来懸念され、施設の管理運営についても、今後検討していく事が必要と考えます。</p> <p>官民が協力して、住民サービス向上に向けて、取り組んでいきましょう。</p>		

動物死体収集運搬におけるカイゼン効果(備前地域)

本件について、以下のとおり考察する。なお、平成 29 年度における動物死体処理の約 8 割を備前地域で占めており、データ整理等の簡略化を鑑みて備前地域のみでの考察とする。また、平成 29 年度動物死体処理実績は 73 頭であった。

◆平成 29 年度動物死体処理数を基に【委託した場合】と【委託していなかった場合】の経費及び実務時間を比較した結果、以下のとおりとなった。

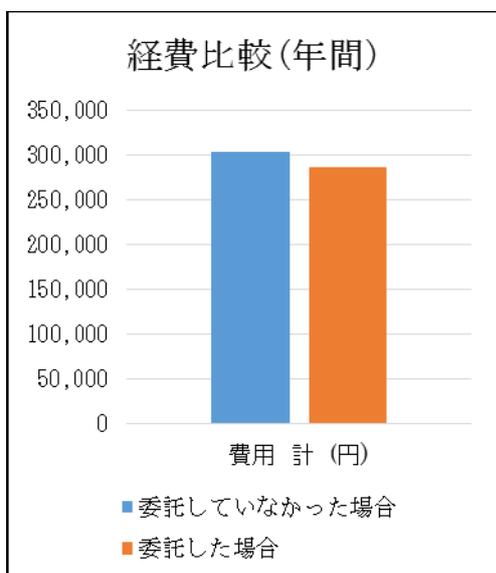


図1 経費の比較

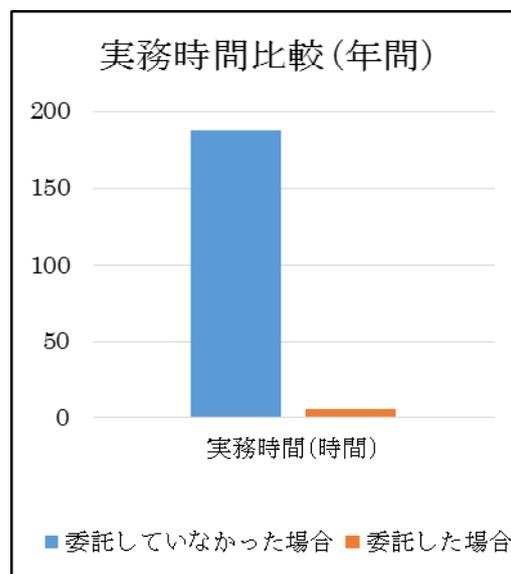


図2 実務時間の比較

経費としては、16,900 円の削減効果があり、実務時間では 182 時間の削減効果があった。182 時間分の人件費については、動物死体手数料に置き換わったような形になったため直接的な経費の大幅な削減はあまり無かった。一方で、削減された 182 時間(勤務時間にすると約 25 日)を他業務に充てることができるようになったため、災害対応等にも迅速に対応ができるようになるなど、業務の効率化や、サービスの拡充にも繋げることができた[※]。また、週休日や祝祭日の出勤が無くなりワークライフバランスの実現効果もあった。

上記の点を踏まえ、動物死体収集運搬業務委託については、事務効率の向上及びそれに波及する経済的な効果やワークライフバランスの実現等、非常に大きな効果があった。

※業務の効率化及びサービスの拡充に繋がられた業務

- ・災害対応
- ・引き取り義務外品の回収体制の構築
- ・し尿汲み取り料金の定額制統一
- ・メダルプロジェクトへの参加 等々

提案事項審査報告書
(カイゼン報告用)

提案番号 No.18-15	所属	職名	氏名
------------------	----	----	----

報告件名 動物死体収集運搬業務委託

問題意識	創造性	有効性	効率性	費用対効果	具体性	合計 (総合評定)
4.2点	3.2点	4.2点	4.3点	3.0点	4.0点	22.8点

優秀賞

【意見】

- ・今回の件では、経費だけではないワークライフバランスの充実として、働き方改革が推進されている中で、とてもいい参考になったと思う。
- ・実務時間の削減量を見る限り、他の業務に充てる時間の拡大化やワークライフバランスの向上に非常に効果があったものとみることができます。今後も外注等により省力化が可能な業務については、外部の力を借りていくことも必要だと思います。
- ・実務時間が圧倒的に削減され、職員への負担が大幅に改善されており、効果が非常に高いため、この点数としております。
- ・官民が上手く連携した例だと思います。経費としての効果は大きくないのかもしれませんが、実務時間が削減され、別の業務が充実していることから、費用対効果は高いと思います。
- ・実務時間、経費の削減だけでなく、職員への精神的な負担を大幅に改善できた良い例だと思います。他部署の業務でも可能なものは積極的に委託を行って欲しいと思います。
- ・人件費とほぼ変わらない委託料で外務委託できるのであれば有効である。